

平成30年度議会による行政評価 施策評価の予算措置等の状況

資料1-3

- 市総合評価 A: 計画以上に進捗しており、このまま継続して施策を推進する。
- 市総合評価 B: ほぼ計画通り進捗しており、継続して施策を推進する。
- 市総合評価 C: 目標をやや下回る要因の分析と施策の見直しを要する。
- 市総合評価 D: 目標を大きく下回る要因の分析と施策の見直しを要する。

< 施策評価 >

(千円)

| 施策評価名 | 担当課              | 施策内容   | 市<br>評価 | 議会<br>評価 | 議会評価総括コメント  | 実施状況コメント   | H31年度<br>当初予算額 | H30年度<br>当初予算額 | 増減額<br>(H31-H30) | 備<br>考<br>(H29年度<br>決算額) |
|-------|------------------|--|---------|----------|---|--|----------------|----------------|------------------|--------------------------|
| 防災の推進 | 自治振興課<br>(危機管理室) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害から市民の生命と財産を守るため、災害に対する市民の認識を高めるとともに、災害時における市民一人ひとりの判断力を育成し、防災施設や体制の整備などを図るとともに、関係機関との連携強化や自主防災組織などの育成に努め、災害に強いまちづくりを推進する。</li> <li>(現況と課題)</li> <li>・府との共同事業によるおおさか防災ネットにより災害時の情報の収集や伝達の充実を図っている。</li> <li>・防災行政無線を活用し、災害時の情報の収集や伝達の充実を図っている。</li> <li>・防災ガイドのハザードマップを全戸配布し、市民の防災意識の高揚を図っている。</li> <li>・各種災害に対応するため、防災協定を関係機関と結び、防災体制の強化を図っている。</li> <li>・昨今の自主防災に対する意識の高まりの中、各町会で自主防災組織が結成されており、その育成が必要である。</li> <li>・避難行動要支援者を守るた</li> </ul> | B       | 拡充       | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各自主防災組織へ「自助」・「共助」の指導強化を図ること。</li> <li>2. 予算的な支援を含めて、各種団体との災害協定の推進を強化すること。</li> <li>3. 「ふるさと納税」・「防災・減災交付金」等の活用による防災無線の増設をすること。</li> <li>4. 研修などを実施することにより、防災士の更なるスキルアップ等の育成強化を図ること。</li> <li>5. あらゆる災害に対応できる地域版ハザードマップの恒常的な見直しをすること。</li> <li>6. スマートホンを含む携帯電話への緊急通報システム、及び災害発生後の行政からの各種アナウンスを検討すること。</li> </ol> | <p>この施策を構成する2事業のH31当初予算額とH30当初予算額を比べると、13,987千円(39.7%)の減少となっている。これは、施策を構成する2事業のうち、災害対策事業で12,850千円の減、原子力防災資機材等管理事業で1,137千円の減となったためである。</p> <p>※増減理由は各事務事業に記載。</p> | 21,224         | 35,211         | △ 13,987         | 21,436                   |

|  |  |   |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|---|--|--|--|--|--|--|--|--|
|  |  | <p>め、地域での連携体制の強化を図ることが必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・平成24年5月実施の市民アンケート結果から判断すると、重要性が高く満足度が低い施策と位置づけられるので、満足度を上げる必要がある。</li></ul> |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|---|--|--|--|--|--|--|--|--|

<本施策を構成する事務事業評価>

市評価段階 A: 拡大、B: 現状維持、C: 縮小、D: 休止、E: 段階的に廃止、F: 即廃止(完了)

(千円)

| NO | 事務事業名  | 担当課              | 事業内容 | 市<br>評価 | 議会<br>評価 | 議会評価個別コメント   | 実施状況コメント   | H31年度<br>当初予算額 | H30年度<br>当初予算額 | 増減額<br>(H31-H30) | 備<br>考<br>(H29年度<br>決算額) |
|----|--------|------------------|------|---------|----------|--|--|----------------|----------------|------------------|--------------------------|
| 1  | 災害対策事業 | 自治振興課<br>(危機管理室) |      | A       | —        | <p>○ハザードマップなどの周知が必要だと思えます。また、お住まいの地域により注意する場所や、避難場所の違いがあることや、災害によっても避難場所が、変化する場合があります。どうか知っていただくか工夫をお願いします。</p> <p>防災訓練についても参加率の向上が大きな問題だと感じてしまいます。地域通貨の活用なども利用して、増えるのであれば、よろしくお願いたします。(防災訓練に合わせたイベント開催なども出来れば良いと思えます。)防災意識の啓発・向上、災害時の行動など情報発信はいろいろな機会にしてください。</p> <p>個人情報の問題もあるとは思いますが、避難行動要支援者については広く情報開示できるようにお願いします。</p> <p>備蓄品などの管理は、被災地支援などに活用しながら、新しい情報なども取り入れながら、見直しなどをお願いします。</p> <p>地域的な課題があると思えますが、訓練などで問題が出たときは出来るだけ問題意識の共有ができる体制の充実をお願いします。</p> <p>○8月21日(火)大阪府市議会議長会総会の2部の研修会で、片田 敏孝氏の講演を拝聴しました。</p> <p>講演内容は「想定を超える災害にどう向かい合えばいいのか～危機に主体的に備えるために～」自然災害に対する住民の意識改革に関する興味深い内容でした。本年の西日本を中心とした7月豪雨での被害での被災地域での調査や、アメリカのハリケーンの事例やキューバでの事例等。「自分の命は自分で守る」との住民の話をお聞きました。</p> <p>行政主導のハードの面の取り組みと地域住民の意識改革のソフト面での講習会などの回数を増やすなどの取り組みを要望します。</p> <p>○自助の力が最大の課題となっている現状において、「災害弱者」の方々への支援に向けて、さらにご尽力いただきたいと思います。</p> <p>○防災士等地域減災リーダーの育成により、</p> | <p>H31当初予算額とH30当初予算額を比べると、12,850千円(39%)の減となっている。</p> <p>これは、防災ガイド・地域防災計画の印刷で3,168千円の増、避難所毛布のクリーニング代で1,237千円の増となった一方、安否確認タオル作成費で5,918千円の減、防災ガイド・地域防災計画等修正業務委託で6,000千円の減、計画量購入が完了した災害救助用毛布で3,227千円の減、安否確認タオル配布委託で3,046千円の減となったためである。</p> | 20,107         | 32,957         | △ 12,850         | 20,383                   |

| NO | 事務事業名 | 担当課 | 事業内容 | 市<br>評価 | 議会<br>評価 | 議会評価個別コメント  | 実施状況コメント | H31年度<br>当初予算額 | H30年度<br>当初予算額 | 増減額<br>(H31-H30) | 備 考<br>(H29年度<br>決算額) |
|----|-------|-----|------|---------|----------|---|----------|----------------|----------------|------------------|-----------------------|
|    |       |     |      |         |          | <p>機能する自主防災組織に向けた人材育成は着実に進んできているが、一方で自主防災組織が活動するための資機材については、各地区の予算では中々整備が進まないのが現状である。機運が高まってきた自主防災組織活動の充実を図るため、資材購入や研修のための予算の拡充を求めた。</p> <p>○市の地域防災計画に見合う予算と人の確保をお願いします。</p> <p>災害発生時の避難所への物資の届け(備蓄)派遣する職員の確保をお願いしたい。</p> <p>避難行動、要支援者の名簿作成中とのことですが、完成を急ぎ、町会役員さんとの具体的な避難計画の作成にもつとめていただきたい。</p> <p>○泉佐野市地域防災計画に見合う予算・人員の確保を望む。災害発生時の市内避難所への物資の備蓄、派遣職員の確保などについて確保されたい。</p> <p>また、避難行動要支援者の名簿作成を作業中とのことであり、完成を早めるとともに、町会役員さんなどの具体的な避難手順の作成などにも努められたい。</p> <p>○本市を取り巻く災害の中でも近年の大雨による浸水が最も心配される。ハザードマップを有効に活用し、河川の氾濫や山間部の土砂災害に特に留意すべきと感じる。</p> <p>突然起こる地震については、子どもへの対策に不十分なところがある。登下校時に地震が発生したら通学路の途中でどこへ逃げるかを平時から徹底的に指導すべきと考える。</p> <p>○災害に対しては自分の身は自分で守るが原則ですが災害弱者の援助には日頃からの交流があつてこそ有効に機能すると考えます。町会組織の充実や町会加入者の増加も含めあらゆる場面からの取組を必要とします。</p> <p>○大防災訓練を継続実施。</p> <p>「自主防災組織」が全町会で組織化できるように努めて下さい。</p> <p>ふるさと納税の活用で防災無線増加を検討していただきたい。</p> <p>HUG(避難所運営ゲーム)など、リアリティー</p> |          |                |                |                  |                       |

| NO | 事務事業名 | 担当課 | 事業内容 | 市<br>評価 | 議会<br>評価 | 議会評価個別コメント  | 実施状況コメント | H31年度<br>当初予算額 | H30年度<br>当初予算額 | 増減額<br>(H31-H30) | 備 考<br>(H29年度<br>決算額) |
|----|-------|-----|------|---------|----------|---|----------|----------------|----------------|------------------|-----------------------|
|    |       |     |      |         |          | <p>があり、ゲーム感覚で災害後の避難所をどのように運営していくかを実体験できるツールとしては有効と考えます。さらなる普及に努めていただきたい。</p> <p>○子ども達が単独行動となる登下校中における避難訓練や意識の向上に取り組んでいただきたいと思います。</p> |          |                |                |                  |                       |

| NO  | 事務事業名                 | 担当課              | 事業内容   | 市<br>評価 | 議会<br>評価 | 議会評価個別コメント  | 実施状況コメント   | H31年度<br>当初予算額 | H30年度<br>当初予算額 | 増減額<br>(H31-H30) | 備 考<br>(H29年度<br>決算額) |
|-----|-----------------------|------------------|--|---------|----------|---|--|----------------|----------------|------------------|-----------------------|
| 2   | 原子力防災<br>資機材等管<br>理事業 | 自治振興課<br>(危機管理室) | 平成12年度大阪府原子力防<br>災対策臨時特別交付金により<br>整備した資機材等に係る維持<br>管理事業で、大阪府原子力防<br>災活動資機材維持管理費補<br>助金により実施するもの。 | B       | —        | <p>○定期的な広報などを通じての情報提供の継続。</p> <p>○市民の意識が高まる中、目には見えない放射性物質・放射能に対する安全確保に向けて、さらにご尽力をいただきたいと思います。</p> <p>○原子力防災対策に必要となる基盤整備として、緊急時連絡網や防災資機材等の整備・充実を図るものであり、原子力防災体制の不断の改善・強化を行うために必要不可欠なものであり、国からの支援・調整下で、地域の実情等を踏まえながら事業を執行していく事が効果的かつ効果的である。</p> <p>○熊取原子炉は、実験用・医療用と言われてますが、小さな事故はまれに起こっている様です。市としても原子力防災の認識を強くもって頂き、実験所に対して必要な情報公開を求め、市民にお知らせ願いたい。</p> <p>○熊取原子炉は実験用・医療用とはいえ事故が全くないとは言いきれず、市としても原子力防災の重要性を認識され、防災資機材の適正な管理運用に努められたい。</p> <p>また、市としても実験所に対して必要な情報公開等を求められたい。</p> <p>○大阪府からの貸与備品の更なる充実を図って頂きたい。</p> <p>機材管理とは違うがもしも原子力関連事故が起こった場合の避難シミュレーションは周辺の市民に周知徹底を図るべきと考える。</p> <p>○熊取町の原子炉を近隣に持つ自治体として必要とされる事業で有事の時の準備という側面がありますが50数年間事故は無いので特にコメントはありません。</p> <p>○現在の原子炉に対する理解をさらに広めてください。同時にハザードマップ等のさらなる周知を推し進めてください。</p> | <p>H31当初予算額とH30当初予算額を比べると、1,137千円(50.4%)の減となっている。</p> <p>これは、車両整備・点検費用で<b>原子力防災対策車両に係る車検のための費用においてH30年度は15台の車検でH31年度は6台となるため</b>720千円の減、防災行政無線用電池(3年に1回交換)で208千円の減、車両自賠責保険で225千円の減となったためである。</p> | 1,117          | 2,254          | △ 1,137          | 1,053                 |
| 合 計 |                       |                  |  |         |          |   |  | 21,224         | 35,211         | △ 13,987         | 21,436                |